

食べ終わりをわかりやすく

発達に凸凹のあるお子さんは、「食べ終わり」を理解することが苦手な場合があります。

お菓子をあるだけ食べてしまう場合、食べ終わりの意味を教えてあげることが大切です。

気を付けることは、お菓子を袋ごと渡さないこと。

お菓子を見えるところに置かない

決まった容器に入れ、「からっぽ」がわかるようにすること。

子供が泣いたとき、好きなものや残りを追加を出してしまうとおしまいの意味が分からなくなるので、気を付けましょう。

お菓子を食べる量だけ器に移し残りは見えないようにします



別なうつをに半分だけ取り、子どもに与えます



食べ終わってまだ欲しがったら、残りを入れてからぽの器を見せ、これで終わりと伝えます。



納得してごちそうさまができます

